

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード	810500	2998-9253
事業コード	文化財公開活用事業	担当部課	教育総務部文化財保護課	
810508			グループ	調査保護
開始年度	26	年度	終了年度	年度

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画			文化財保護法
	関連・類似事業	ふるさと研究活動事業			所沢市文化財保護条例
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 市民文化	基本方針	風土に培われた歴史と文化の伝承と発信
事業開始の背景	開始年度以前にも講座の開催や写真パネル展などによって文化財の公開普及につとめてきたが、生涯学習推進センター企画展示室のような博物館的展示スペースが使えるようになり、原物資料の出版を仰いだ「所沢市文化財展」を平成26年度に実施した。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	文化財は、年齢を問わずまちを知り愛着を抱くための重要な素材となる。その公開活用によって「ふるさと所沢」への愛着を深めるとともに、文化財を後世に残す意義についても広く浸透させていく。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	108 件
	市内に所在する国・県・市指定文化財と登録文化財			平成 27 年度	112 件
事業の具体的な内容及び実施方法					
指定文化財等の市民への情報公開(市webでの情報発信) 指定文化財等の保存公開に必要な管理(史跡の除草作業等の実施や所有者との連絡) 指定文化財等の公開活用事業の開催(展示・特別公開・講座や講習会等)					

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)			
予算現額		2,064		2,335		3,482			
決算(見込み含む)		2,569		2,482					
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.30 人)	(0.00 人)	(0.20 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
正規職員人件費		2.08 人	18,140	0.42 人	3,637				
事業費合計		20,709		6,119					
財源内訳	一般財源	20,709		6,119				3,482	
	国・県支出金								
	その他()								

実績	活動実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
		所沢市webコンテンツアクセス数	文化財保護課所管コンテンツへの年間アクセス総数	件	218,540	335,088	350,000	
		所沢市webコンテンツ発信数	文化財保護課所管コンテンツの月別最多掲載数	件	282	288	290	
		公開活用事業数	文化財にかかる講座等の年間事業数	件	8	3	5	

成果	成果指標	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
		文化財に関する市民理解度	文化財保護課所管の施設の見学及び主催事業への参加数	人	目標値 8,700	8,700	8,700	
		実績	8,472	7,689	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図る <input type="checkbox"/> 実績縮小図る			
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率 97	88	どちらかをチェックしてください		

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	三ヶ島・柳瀬両村の合併60年を記念して、活用事業を三ヶ島地区(国登録有形文化財「旧和田家住宅(クロスケの家)」)と柳瀬地区(県指定史跡「滝の城跡」)の二か所で開催した。ともすれば事業の会場が庁舎近辺に偏りがちである中で有意義であったと考える。	隔年開催の「所沢市文化財展」が平成27年度には開催されなかったため。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	文化財の保護には、市民の理解と協力が不可欠であり、その基盤を整えるための文化財公開活用事業の重要性はますます高い。
	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	公開活用の活発化のためには、文化財の状態を維持することも大切である。屋根のき損が進む国指定重要文化財「小野家住宅」の修理事業が実現できるよう、費用対効果を考えた公開活用事業を活発化していく。
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
評価日	H28.8.10	評価者職氏名	文化財保護担当参事兼文化財保護課長 木村立彦	

環境影響	有益な環境影響	5-4歴史・文化的環境の保全	有害な環境影響を及ぼす原因活動	除草廃棄物の処分	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無